

2021年度の聖句

「見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び。」詩編133編

聖霊降臨節第十七主日礼拝

礼 拝

9月12日

10時30分

司式 池谷明高牧師

前 奏 J.G.ヴァルター
「栄光の日は現れぬ」

招 詞

讃 詠 III22「わたしたちは神の民」(1節)

讃 美 歌 II-167(1, 2)

祈 禱

主の祈り 564(週報裏面掲載)

讃 美 歌 II-94(1, 6, 9)

聖 書 マタイによる福音書 6章 9-13節

宣 教 『あなたの罪は赦される』 池谷明高牧師

祈 禱

讃 美 歌 II-167(3, 5)

使徒信条 566(週報裏面掲載)

献 金

報 告

頌 栄 I-544

祝 福

後 奏 J.S.バッハ「天にまします、我らの父よ」
※毎週の礼拝をインターネットで配信しております。

説教題字 糸井慈さん 講壇お花 皆川純子さん

《今日の集会》

・教会学校 休 校

《奏 楽》

礼拝の奏楽は、石井祥子さんが録音してくださったものです。
(後奏の録音のみ牧師、二編94番のコラールに基づく曲)

《今週の予定と集会》

・祈禱会、その他の諸集会も引き続きお休みです。

《来週の礼拝》

聖霊降臨節第十八主日礼拝 9月19日(日) 10時30分
(召天者記念礼拝)

宣 教 『永遠の命に生きる』 池谷明高牧師
聖 書 ヨハネによる福音書 3章 16-21節
II-236(1, 2) II-136(1, 3) I-338(1, 4) I-544

《御奉仕に感謝》

先週、長老会の後に、召天者の兄弟姉妹の御写真を礼拝堂に飾りました。長老の皆様ありがとうございました。
井上長老が表の薔薇の剪定や草取りをしてくださいました。
土曜日に、市川佳弘さんが草取りをしてくださいました。

《日々変えられる》

私達の信仰の歩みは蛇行します。方向が違えば、礼拝で正されます。私達は日々、神様の方向から離れないよう、向きを変えられながら歩んでいるのです。
礼拝も、教会も日々変えられ、整えられます。状況に応じてすぐに対応するしなやかさが求められます。それを散えて一々説明するようなことはいたしません、何故変わったのかを考えることは大事なことです。意味のないことなど一つもありません。神様に立ち返ろうとしない者にとっては、変わることに抵抗があるかもしれません。しかし年齢関係なく、若いも若きも、今日が人生最後の日だという思いさえあれば、いつでも変えられるのです。

《踏みとどまる》

いくら聖書を勉強しても、それだけで救われることはないでしょう。大事なことは、自分の思いを離れて、御心に、御言葉に従うことです。人を赦し、人を愛し、人に与え、仕える。

信仰とは踏みとどまることです。しかし力は要りません。神様から遠ざけようとするものを、アーメンと言って飲み込む。イエス様と一緒に飲み込めばよいのです。神様の愛は全てを包み込み、すべてを飲み込みます。自分のためだけでなく、自分を必要としている人のためにこそ、飲み込めるのです。母親が我が子のためなら、なんでも飲み込めるように。
礼拝に、御言葉に、教会に、兄弟姉妹に、隣人に、そして信仰に、神様に踏みとどまるのです。

《修繕》

礼拝堂の屋根の塗装を、先週の金、土、今週の月曜と、業者の方にしていただいています。

《牧師室から》

御言葉を説教者が読んでいます。そして説教へと続きます。この御言葉こそ礼拝の中心です。誰が読んでよいというものではありません。神の言葉を語るのです。そして解き明かしが始まります。緊張感を失えば、人の言葉にしか聞こえなくなります。ですから御言葉に続けて説教があります。どれだけの人が、この言葉を、飢え渴きをもって聞こうとしているか。しかし、求める者には、必要な言葉は必ず与えられます。

